

第 91 回かながわ中央メーデーの開催を心からお祝い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界各地に拡大し、我が国においても、神奈川県を含む都府県を対象に「新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言」が行われるという、まさに国難とも言える緊急事態に直面しています。本県においても私をトップとする対策本部を設置し、医療体制も症状別の「神奈川モデル」をいち早く打ち出し、医療崩壊や、都市機能の停止といった事態に陥らないよう、行政、企業、労働者、県民の皆様が一丸となって、感染の拡大防止に全力で取り組んでいるところです。

そのような中、かながわ中央メーデーをはじめ、各地域で開催されるメーデーの式典・アトラクション・模擬店等を中止し、3つの「密」を避けるため、ホームページ上での開催形式へ変更されたことに心から感謝いたします。

このような状況ではありますが、今回のメーデーが働く皆様の連帯を一層深める機会として有意義なものとなることを願っています。

さて、神奈川県では、「いのち輝くマグネット神奈川」を掲げ、未病の改善をはじめとして、様々な先進的な政策を進めてきました。このような取組は、連合の皆様も取組を進めている、国連の「SDG s（持続可能な開発目標）」とも軌を一にするものであり、今年は、これまでに築き上げてきた政策をもう一段階引き上げ、「SDG s 最先進県」として、「防災・環境」、「未病改善」「ともに生きる」等の政策を進めてまいります。

「県民のいのちを守る持続可能な神奈川」を実現するため、県内各地域に甚大な被害をもたらした令和元年台風第 15 号及び第 19 号などの気候変動を踏まえた風水害への戦略的対策を強力に進めるとともに、引き続き、国、市町村、関係団体と連携し、新型コロナウイルス感染症のまん延の防止と県内経済の影響軽減に努めてまいります。

超高齢社会という課題を乗り越え、「人生 100 歳時代」に県民の皆様がいのちを輝かせていくには、笑いがあふれる社会、それがしっかりとコミュニティに根ざしていることが大切です。

未病指標を活用した健康寿命の取組や、子ども子育てへの支援、安全で安心なまちづくりなど、県民生活に密着した取組を着実に推進していきます。

今後とも、神奈川が先頭に立って、「コミュニティの再生・活性化による笑いあふれる 100 歳時代」をめざして、市町村、民間、NPO の皆様と力を合わせてまい進してまいります。

令和 2 年 4 月 25 日

神奈川県知事
高岩祐治